春の交通安全運動がはじまり、町民の皆さんの交通安全意識の啓発を行っています

春の交通安全運動にあわせて、当町でもさまざまな取り組みが行われました。

子どもたちの交通安全への意識を高めるための啓発活動や、大人の運転手への交通安全マナーの呼びかけが続けられています。

▼4/6交通安全指導員・街頭指導



▼4/19今金小　交通安全教室



▼4/6交通安全協会　新入児童街頭啓発





▼4/18種川小　交通安全教室



▲4/10交通安全運動推進委員会街頭啓発

今金町スポーツ少年団本部団結式・体力テスト開催

4月21日（日）今金町総合体育館で今金町スポーツ少年団本部結団式・体力テスト会並びにスポーツ見学会が行われました。

はじめに体力テスト会が行われ、握力、長座体前屈、上体おこし、反復横跳び、立ち幅跳び、シャトルランでそれぞれ測定を行いました。



その後、結団式ではスポーツ少年団13団体中、当日11団体、指導者20名、団員146名が参加し、スポーツ少年団員及びスポーツ指導者代表から宣誓が行われました。

各団からは今年の目標などが述べられました。最後に新一年生やスポーツ少年団未加入者を対象に各スポーツ少年団の体験見学会が行われ約30名の子供たちが参加しました。



めでたく100歳を迎えられました

菅又キヨノ様が4月25日にめでたく100歳を迎えられ、同日「豊寿園」で誕生祝賀会が開かれました。

菅又さんは大正2年生まれの今金町出身、車いすを利用されていますが、元気で冗談も話されます。

誕生日のケーキのロウソクも、ご本人がお消しになりました。

この日は清水副町長から記念品と花束が手渡され、たくさんの人の喜びの声に囲まれながら100回目の誕生日をお祝いしました。





北海道今金高等養護学校に27名が入学しました

今金高等養護学校入学式が4月9日行われ、産業科9名、農業科9名、生活家庭科9名、計27名が入学しました。

佐々木校長からこれからの学校生活に向けての目標が伝えられ、新入生代表からは、これから3年間の心構えが述べられました。

これから寮生活で親元から遠く離れて、はるばる今金のまちで生活するにあたり、楽しく、有意義な経験が送られることをお祈りいたします。



図書室お話会が行われました



4月20日、図書室おはなし会が行われました。4月23日の「子ども読書の日」関連事業として「じゃがいもの花」による大型紙芝居や「図書室おはなしボランティア」による読み聞かせが行われ、そのあとは親子やお友達と一緒に紙コップ工作に挑戦しました。

「図書室おはなし会」毎月第3土曜日午後1時30分から図書室や隣の研修室で行われております。是非お越しください。

交流人口を増やせ！

今金町人流創生プロジェクト

⑦「今金男爵ポテサラごはん」完成発表会・協定調印式とプロジェクト協議会平成25年度総会について

「今金男爵ポテサラごはん」完成発表会・協定調印式

●飲食店でのデビューは3月31日！

昨年4月より開発が進められてきた「今金男爵ポテサラごはん」の完成発表会・協定調印式が3月30日に行われました。

本事業は昨年4月に「リクルートライフスタイル・リサーチセンター」エグゼクティブプロデューサーのヒロ中田さんから町の特産品「今金男爵」を使用したご当地グルメの開発を提案がされたことをきっかけに始まったものです。町では、町内飲食店が中心となったプロジェクトを結成し、毎週のように議論を重ねた結果、できる限り地場産の食材にこだわった三段重のポテサラ贅沢御膳「今金男爵ポテサラごはん」を完成させました。

今回の調印式に参加した5店舗ではそれぞれにアレンジが加えられた「今金男爵ポテサラごはん」を食べることができますので、皆様お誘いあわせの上、是非ご賞味ください。



●「今金男爵ポテサラごはん」が食べられるお店
「石田屋」、「せんなり」、「八千よ」、「ＨＯＴＥＬいまかね」、「クアプラザピリカ」

●問合せ先
今金男爵ポテサラ協議会
（役場産業振興課商工観光グループ）
☎0137-82-0111

プロジェクト協議会 平成25年度総会

町の交流人口の増加や人材育成を目指し、昨年度発足した本プロジェクト協議会（道地域づくり総合交付金受託事業）の平成25年度総会が4月9日、町役場で行われ、メンバー35名が参加しました。総会では、平成24年度事業報告・決算報告、平成25年度事業計画・予算が承認されました。

●平成25年度の主な取組予定

平成24年度に実施したカスタマーニーズ調査の結果を受け、次の事業計画が立てられました。

①新・ご当地グルメ『今金男爵ポテサラごはん』の町内外の発信ＰＲ事業等予定
②イメージキャラクター『いまルン』＆『だんしゃくん』の町内外の発信ＰＲ等
③札幌国際大学と連携をし、町の魅力（地域資源）を活用した体験プログラムの実証を予定。また、地域の魅力を具体的な〝カタチ〟として周遊ルートの案内看板設置やホームページ・パンフレットなどで発信を予定。
④『ちょっとだけ田舎暮らし体験』は先進地視察や、大学生の受け入れ（ファームイン）などの実証を予定。

また、具体的な体験施設の整備に向けた取り組みを行う予定です。



※上記の記事はホームページ・ＴＯＰＩＣＳにも掲載されております
http://www.town.imakane.lg.jp/modules/pico1/index.php/content0379.html